



# 2018年10月期 第1四半期 決算補足説明資料

---

株式会社シャノン（東証マザーズ：3976）

2018年3月12日

本資料に記載されている意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## 連結PL（2018年10月期第1四半期実績）

- 売上高はMA、EMともに、前期比で増収
- EMの増収分には、利益率が低いイベントプロデュースに関連する増収分も含まれるため、その影響で売上高の増加率よりも売上原価の増加率が大きくなっている。

単位：百万円

	2017年10月期 第1四半期	2018年10月期 第1四半期	前年同期比	2018年10月期 通期予想
売上高	361	427	118.3%	1,934
MA	240	258	107.5%	1,395
EM	120	168	139.7%	538
売上原価	156	195	124.9%	797
売上総利益	205	232	113.2%	1,136
販売費及び一般管理費	227	268	117.9%	1,127
営業利益	△22	△35	—	9
経常利益	△31	△35	—	6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△21	△35	—	0

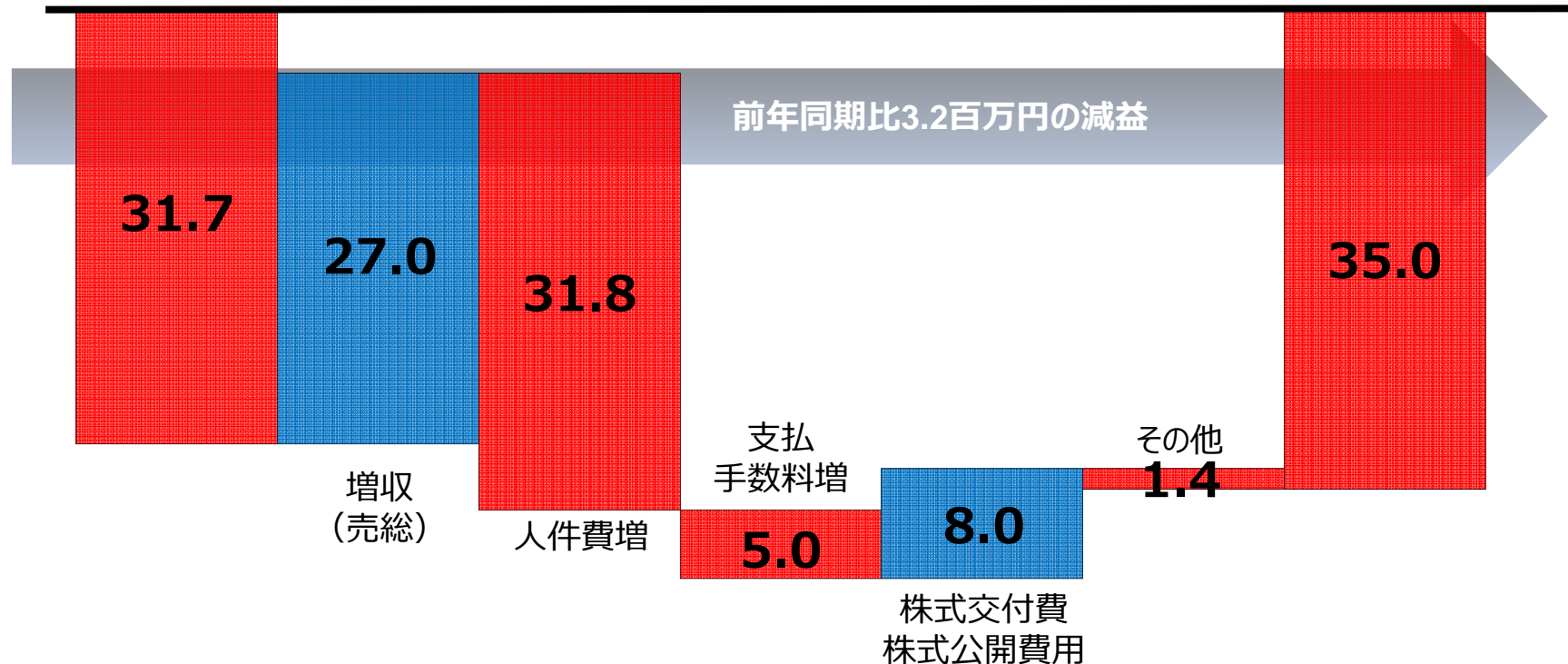
# 当第1四半期の経常利益の増減要因分析【対 前年同期】

- 売上高は概ね順調に推移し、増加。
- 業容拡大に向けた採用活動継続により、人件費が増加。
- 上場に伴い、総会関連費用、監査報酬や信託報酬等の増加により支払手数料（販売費及び一般管理費）増加。  
なお、前年同期は営業外費用として株式交付費、株式公開費用を計上。

2017年10月期  
第1四半期  
経常利益

2018年10月期  
第1四半期  
経常利益

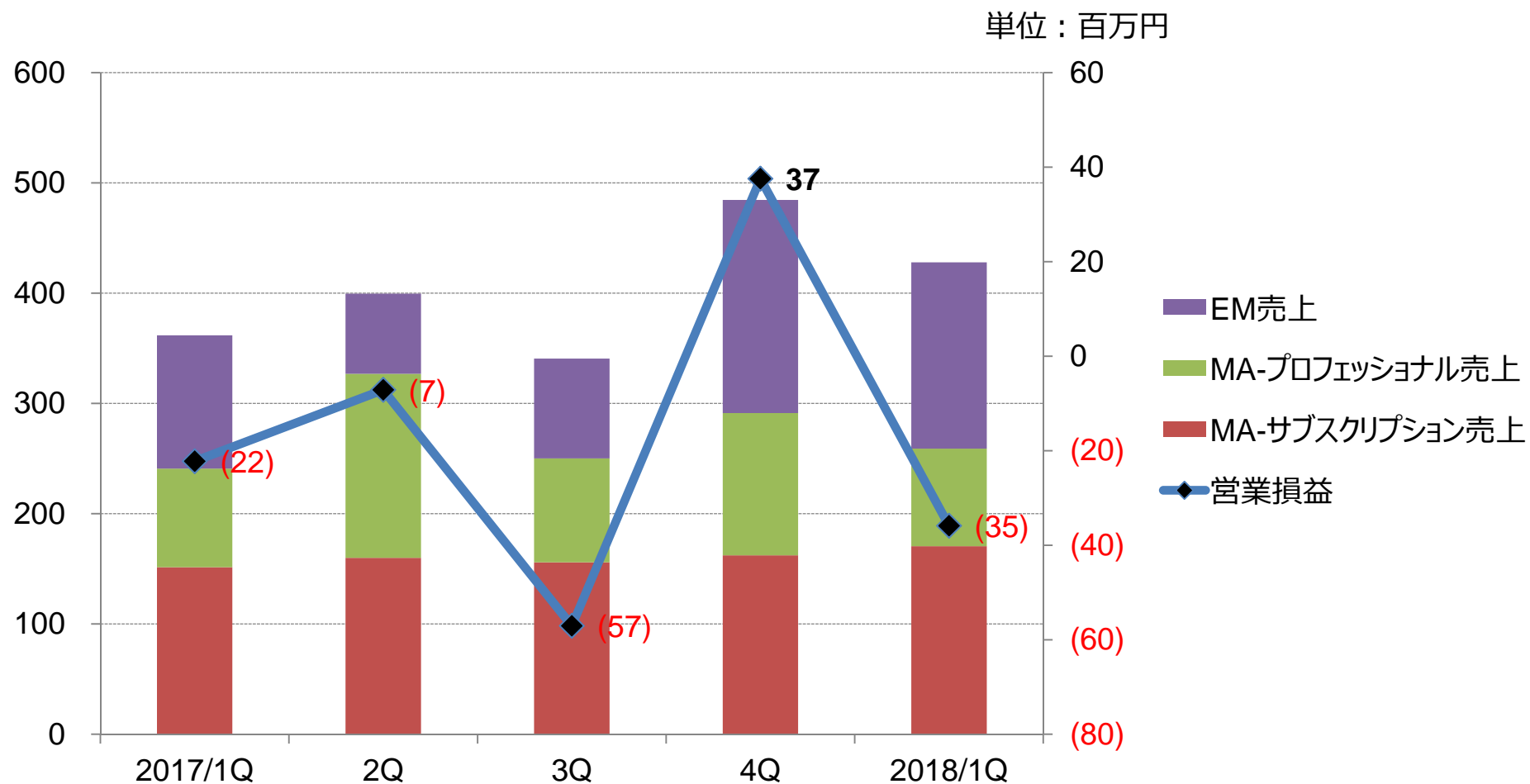
単位：百万円



※人件費や減価償却費等の原価関連項目の原価計上分の増減は、増収（売総）に含まれています。

## 売上高構成比・営業利益（連結）推移

- 1Qは人材投資等が先行することもあり、想定どおり赤字。
- 総売上高は概ね見込みどおりに推移し、前年同期比でも増加しているが、構成比としてMAよりも利幅が低いEM（特にイベントプロデュース関連）の比率が想定よりもやや高め。
- 営業損失は採用が当初想定よりも一部遅延している影響等によるコスト減少のため当初見込みよりもやや縮小。



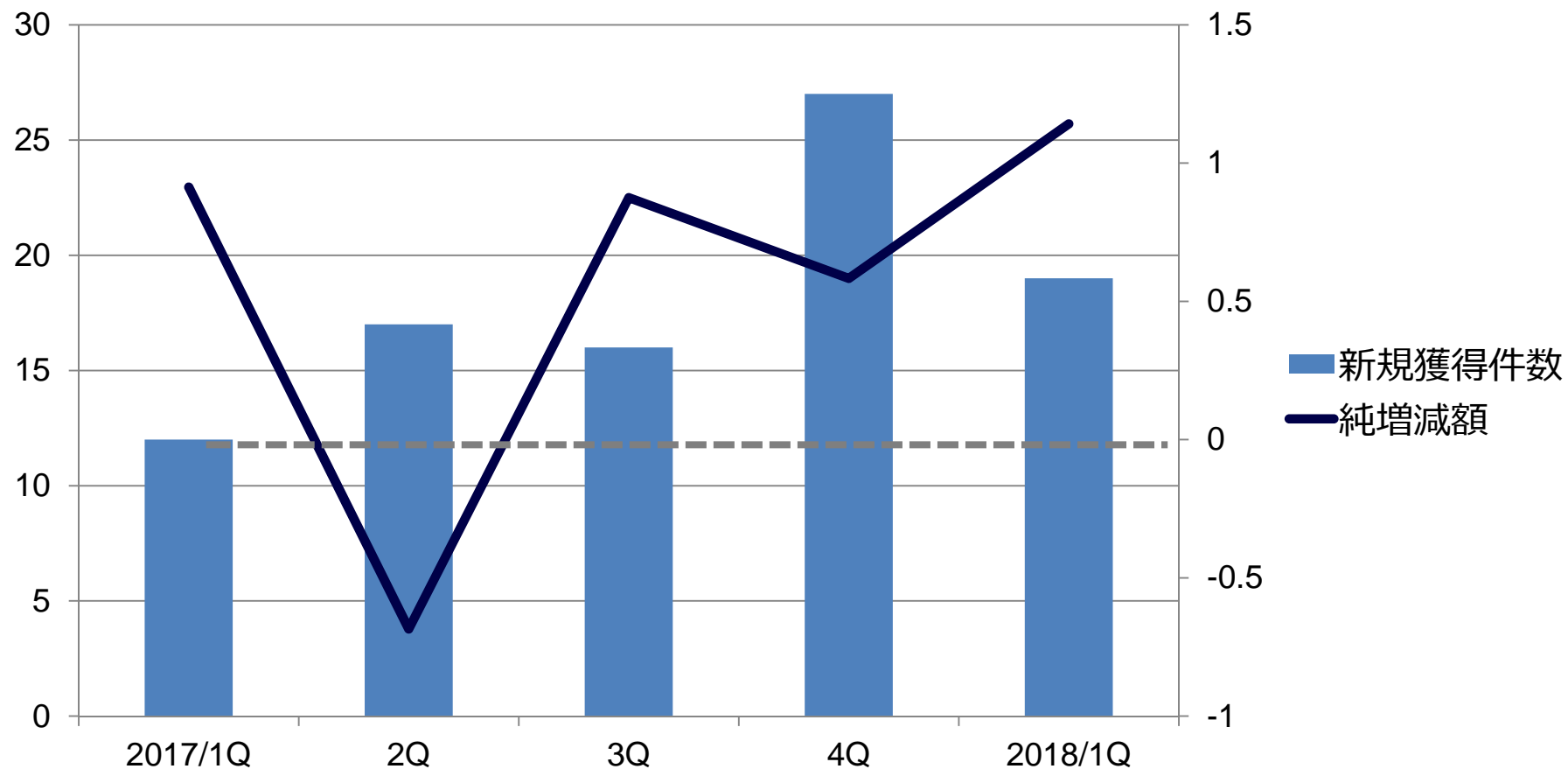
# サブスクリプション売上の新規契約獲得件数、純増額の推移

- 新規獲得件数は、前年同期比約**58.3%**増加
- 解約金額は前年同期比で約△**26.7%**と改善
- 純増額（※）は、前年同期比約**25.1%**増加

※新規獲得契約額と解約額の純額（アップグレード・ダウングレードによる増減分、従量課金分は含まない）

単位：件

単位：百万円



## 将来の見通しに関する注意事項

- ・ 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking-statements）」を含みます。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社または当社の経営陣の 仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。
- ・ これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動等、一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。